

# 2015年度第1回理事会議事録

日 時：2015年5月14日（木）10：30～17：00

場 所：連合会館 201号室 東京都千代田区神田駿河台 3-2-11

## I. 開会

## II. 会長挨拶 定款確認

## III. 議事

1. 議長選出：岸本副会長 議事録作成人：事務局 中村早苗

2. 定足数確認

理事：出席 53名/83名中 監事：出席 3名（3名中）

顧問：3名 事務局：2名 オブザーバー 2名 合計：63名

3. 議事録署名人の指名： 代表理事：福川 監事：斎藤

4. 資料及び議案の確認、新議題の採択 特になし 前回議事録の確認

2014年度第3回常任理事会 2014年度第6～7回・2015年度第1回正副会長会議

### 【審議事項】

(1) 入退会者について（入会9名 / 退会8名）

大代専務 審議 資料A P1

入会：9名 **全会一致にて承認**

退会：7名 **全会一致にて承認**

退会：8名 **会費未納により退会者 承認**

(2) 準会員から正会員へ1名

大代専務 審議 資料A P14

広島県：(株)石心 **全会一致にて承認**

(3) 和歌山県支部について

井口功 審議 追加資料 P16

井口功：支部設立が出来ないため（志の違い） 会員はいずれかの支部に属さなくてはならないと言う定款より和歌山県支部を設立できるまで、3分割（大坂・奈良・三重）し近隣支部に所属させる。どこの支部に所属するのかはもう少し検討

越智：審議決定を急ぐのか？ 和歌山県メンバーに確認をすべきではないか。違和感を感じる。

井口功：設立について話をはじめてから7、8年経っている。

議長：和歌山県の会員の方を石産協の活動に参加してもらうという目的。

村上：和歌山県会員メンバーに選択の余地があるかと思う。

議長：7名の会員をどこかの支部に所属

**全会一致にて承認**

(4) 【広報委】PRAY for(one)小さな祈りプロジェクト協賛報告及び決算

上野委員長（川本） 審議 資料A P16

川本：多様化した祈りに対し博報堂の提案により仏壇業界、葬儀業界、仏教界、石材業界とて社団設立。祈りの先にあるものを啓発。

石産協 HP 製作費用の決算審議

**白票3票 賛成多数により承認**

(5) 【石博実行委】NIPPON 石博決算報告（映像報告有り）

二上委員長 審議 資料A P19

二上：石博に協力いただいた方にお礼を申し上げます。天候不順にもかかわらず多くの来場者があった。

費用が大幅に予算を超えてしまったことを深くお詫びします。今回の反省を踏まえイベントのパッケージ化を行いたいと思う。

福川：予算の把握が遅れ、管理不足を申し訳なく思っている。パッケージ化して**地区・支部事業**等へ生かして**いきたい**。

会長：疑問視する声を押しての開催。開催して得られたものは大変大きかったと思う。決算についての責任は会長である私にある。結果を踏まえ次に繋げていくことが私の責任の取り方だと思う。

前迫：石博ご苦勞であったと思う。予算協議、審議を経て一年以上かけ準備をしてきたが、この結果を見てこれで済むのであろうか？貴重なお金である。一端立ち止まり、時間をかけてイベントが我々の為になるのかを考えるべきである。墓石を展示出来ないと開催の意味が感じられない。

水野：今回の会議の進めかたでいいのか？小売が元気にならなければならない。イベント、広告事業にばかり走りすぎているのではないか？今後の方針を良く考えてほしい。

新田：予算オーバーの経緯を開示してほしい。

福川：設営(委託費)製作会社に委託するのが金額は掛からないが、オペレーティング等我々素人ではできない

部分があった。各コーナー等費用が増え、広告協賛を集める方向で解消を考えた。設置面積が増えたことにより費用が増えことも原因である。

片桐：盛大な事業を行う大変さは理解できるが、事業予算 800 万円で賛成票を入れたが、この決算は納得できない。大幅予算オーバーをどう支部会員に説明するのか？主旨目的が曖昧である。どこからこの支出をするのか？

福川：間違った手段だったかもしれないが、予算が足りない分を収入でカバーできるよう努力したが力不足であった。石博の部所毎の責任追及は避けたい。管理能力不足であった。外部委託にて進めている分を止めることができなかった。管理上の責任を感じている。

柴田：予算以外のことだが、参加して個人的にお墓がなかったことで得られたことがあると思う。アプローチの仕方が勉強になった。決算の件は委員会の中でこうしたらもっと良いだろうと思って行ってきたことの積み重ねが予算オーバーにつながったのではないかと思う。賛成票、反対票、白票いずれをあげたとしても、理事は執行部である。一般会員は結果がすべてである。この形での提示は無理があると思う。理事会として調査が必要では？このまま票決してもわだかまりが残ると思う。

議長：決算に関して理事会メンバーで調査し、報告したのち審議することについて

白木：反省点は明確にし、事業について再検討すると言うことで審議に諮れないか？

望月（威）：展示し色々な方に来ていただき喜びがあった。出展した一人として責任がある。赤字の責任は誰がとるのか？予算オーバー部分は会員に責任はないと思う。関係者で支払い円満に解決したい。石博を通じお墓以外の石の文化に関することを行っていかなければならないと思った。これから墓石が売れなくなっていく時代となり、どう対応するか勉強となる機会だったと思う。

議長：休憩をはさみ再度審議とする。

福川：正副にて協議した結果、正副並び関係者にて負担するという意見がでた。意見を伺いたい。

斉藤監事：正副関係者負担はおかしい。理事全員で負担すべきことである。事業赤字を出したら担当者が責任をとっていたら何も事業を行う事ができない。

中江監事：決算は監事の立場として認めることはできない。関係者で責任をとって済む問題なのか。協会が主催した石博である。理事会で認めたくえで処理をしなければならないと思う。

井口：協賛金を集め、不足分は執行部で納めたいと思う。

佐藤：各支部へ説明できるような文章を会長、実行委員長で作成をしてもらいたいと思う。

片桐：何らかの形で予算オーバーの内容を報告すべきだったと思う。責任ある形で終わらせてほしい。

二上：赤字補てんについて、当事者が負担するという事は筋が違うという斎藤監事の意見はその通りだと思うが、実行委員長として責任がある。補てんを行い、各会員に事情説明文書を送付することで理解していただきたいと思う。

白木：まず決算に関して審議し否決という結果になった時点で補てんについて審議すべきなのではないか？

会長：片桐支部長の冒頭の質問の不足分の支払いについては繰越金より支払うつもりであった。

事業に対する検証は1年かけて作っていく。早急に会員への説明できる資料を整えたいと思う。

#### 現、事業報告・決算書について審議

**賛成 22 票 反対：3 票 白票：21 票 ⇒否決**

※戸部法律顧問：委任状を使つての方法もあるが、理事会の決議というのは出席をして意見を交わして賛否を決するというのが議事の仕方。委任状を使つての加算は適当でない。

#### 赤字部分を特別協賛金として集め、正副と関係者で残額を負担について審議

**賛成 22 票 反対 20 票 白票 7 票 ⇒否決**

加藤：一般社団法人としてこのような当事者が責任をとるのは如何かと思う。謝罪すべきことは謝罪し、説明を丁寧にし、けじめをつけるので良いのではないかと思う。

片桐：繰越金から借り入れるなどの説明があれば支部会員に説明できるのではないかと思う。

福川：反省を踏まえ、委員会として積立金を作らなかったことも失敗。今後基金を作ったうえで開催すべき。

議長：何らかの形で補てんし、何らかの形で返す。

斉藤会計顧問：会計単位として石博（収益会計）が存在。法人会計よりお金を貸して補てんする。全体的決算書では相殺される形になる。個々として記録し後から何らかの形で返していく。返し方は事業の中から返していくのか、協賛金を集め補填に充てるのかは理事の決議による。記録として残し決算をまたぐ。

越智：このままでは総会は開催できない。会長はどのように考えるのか？

会長：皆さまから意見、提案を聞き着地点を見つけたい。総会の延期を踏まえ臨時理事会の招集も考えなけれ

ばならないと思う。

前迫：先ほど片桐支部長の意見にあったように会の中で借りた形が残るようにし、検証し後に伝えていく。という形でよいのではないか。

議長：再度採決

赤字部分を繰越金から補てんする。(補てんを記録として残す。)

賛成 多数 反対： 白票：3 ⇒賛成多数 可決

(6) 【おD委】 第11回検定試験について 中村委員長 審議 資料A P26

中村：試験内容に関しては自信を持っている。予算が当初予算と何らかの形でずれてしまった。

全会一致にて承認

(7) 【定款委】 定款変更(会員種別・年会費変更・入会審査基準) 白木副会長 審議 資料A P30

白木：会員種別 準会員廃止について 資料説明 準会員には事前に文章にて連絡。

準会員廃止について 全会一致にて承認

白木：年会費変更について新事業、地区支部・部会委員会の事業拡充の為

会長：なぜ会費見直しかというと現状正味財産はあるが、将来的にお墓の啓発、石の魅力の発信を考え今、会費見直しを進めたいと思っている。私が在任中に会費見直しをし、次の方に繋いでいきたいと思う。

戸高：いつから会費見直し？

白木：総会で審議承認されれば2016年度4月からとなる。

年会費見直し案について 全会一致にて承認

(8) 【定款委】 定款変更(災害対策マニュアル) 白木副会長 審議 資料A P34

災害対策マニュアル策定について

全会一致にて承認

(9) 【定款委】 賠償保険について(東京海上日動保険より説明) 白木副会長 審議 資料A P36

請負業者賠償責任保険・生産物賠償責任保険 資料説明

告知によっては引き受け出来る・出来ない場合がある。

全会一致にて承認

(10) 【総会】 第6回定時総会議案について 大代専務 審議 資料B 全頁

斎藤会計顧問：正味財産増減計算書 経常収益が昨年度より約3千万円増えている お墓ディレクターが昨年受検を行わなかった分(受検料、書籍等)。経常費用も昨年度より増えている。お墓ディレクター関係と石博の委託の部分が增えている。印刷製本費・原稿料の増加はお墓ディレクター出版物等である。150万円ほどの赤字である。

貸借対照表 資産合計マイナス負債合計＝正味財産(一般の会社でいう純資産)

大代：総会資料案の内容確認をお願いしたい。予算書についてだが前年度より繰越が少なくなっている。

組織図だが、秋田県支部長が退会し新支部長に佐藤富幸氏が総会にて承認される予定。

全会一致にて承認

【協議事項】

(1) 【広報委】 『母の日参り』について 上野委員長(永谷) 協議 資料A P37

永谷：2016年度母の日にむけて広報委員会として(株)日本香堂様提案「母の日参り」に協賛。

柴田：他団体にも母の日参りキャンペーンがきている。日本香堂様のマーケティングの拡大。広報委員会としてどこまで関わるのか？

長江：石産協のHPにリンクさせてはどうか？

⇒委員会に持ち帰り継続協議

(2) 【広報委】 エンディング産業展2015について 上野委員長(永谷) 協議 資料A P39

永谷：産業展第1回目を12月に開催。石産協が後援という形で協力。後援にあたり石産協としてはPRパネルを製作する予定。

戸高：石産協のメリットは？

⇒委員会に持ち帰り次回報告できるようにする⇒継続協議又は次回審議

(3) 【広報委】 「石工男子プロジェクト」について 上野委員長(永谷) 協議 資料A P48

永谷：他業界にもあったように石材業界もマスコミ用に行う業界活性化プロジェクト。

長江：費用等もう少し考え直したほうが良いのでは？HPにてアップしたのちバックに出版社がついてから等考えてはどうか？自費出版に意味があるのか。

永谷：広報委員でも最終的にカレンダー、本になるのかは今後検討。まずは募集。応用展開は今後。

議長：正副では機関誌ではじめたらどうかという意見がでている。

柴田：アプローチ的に良いと思う。活かし方をどうするのか？マスコミに取り上げられるやり方を考える。そうでないと事業を行う意味がない。どこまで理事が容認するのかという検討が必要だと思う。

**【募集案内配布】することについて部分審議に変更することについて⇒ 反対1 白票2⇒審議決定  
⇒石工男子案内同封審議 反対1 白票5名 賛成多数をもって承認**

(4) **【定款委】災害協定支部契約に関する件について** 白木副会長 協議 資料A P50

白木：支部が行政と災害協定を結ぶことについて西条市の協定書をたたき台として資料を提出。各支部にて検討してもらいたい。

(5) **【定款委】支部事業助成金交付規定について** 白木副会長 協議 資料A P53

白木：前回常任理事会から引き継ぎ、支部事業助成金交付規定について資料説明。助成対象事業内容詳細説明。来年1月から受付をしたいと思う。

### 【報告・依頼事項】

(1) 各地区・支部報告 各地区支部長 報告 資料 なし

(2) **【北海道支】幸フクロウ運動について** 三上支部長 報告 資料A P55

三上：5年目となる継続事業である。今まで関わった施設とネットワーク作りも支部として取り組みたい。

(3) **【奈良県支】石あかりの小径報告** 大石支部長 報告 資料A P57

大石：今年度も石灯りの小径事業を行う。

(4) **【関連部】企業紹介展示会開催について報告** 竹ノ内（永谷） 報告 資料A P58

永谷：関連部会のミニ展示会を関東・関西各2箇所を企画

(5) **【関連部】企業紹介カタログ製作について** 竹ノ内（永谷） 報告 資料A P59

永谷：関連部会所属約130社を対象に紹介する冊子を製作し、会員の方に配布し役立ててもらおう。

(6) **【関連&輸入】2/12 合同会議報告** 望月部会長 報告 資料A P60

望月：海外向けの展示会についてディスカッションを行った。

(7) **【輸入卸商部】業界向けDVD販売の件** 望月部会長 報告 資料A P63

望月：資料説明。石材業界へ普及したいと思う。

(8) **【墓石部】happy-shine 業務紹介について** 佐野部会長 報告 資料A P65

佐野：日本香堂のhappy-shine 事業（お墓の掃除代行）墓石部会にて検討。提携企業の募集をする。

(9) **【墓石部】損害保険について** 佐野部会長 報告 資料A P69

佐野：損保ジャパン日本興亜より地震保険について検討 アンケート協力をお願いしたい。

(10) **【広報委】郵便局ロビーの活用について** 上野委員長（永谷） 報告 資料A P72

永谷：支部又は個店にて是非活用してほしい。

(11) **【おD委】1級資格取得者研修会について** 中村委員長 報告 資料A P75

中村：資料説明

(12) **【おD委】更新結果について（資格取得者数推移）** 中村委員長 報告 資料A P77

中村：更新者が少ない今後の課題である。委員会として対策を検討していく。

(13) **【研修委】講師リストについて** 大代委員長 報告 資料A 78

大代賢太郎：協会ホームページに講師リストを参考にさせていただきたい。

(14) **【次世代委】あじストーンフェア青年部交流会後援について** 山口委員長 報告 資料A P81

山口：今年も参加する。石産協PR活動する予定。

(15) **【次世代委】全国石材青年部会長サミットについて** 山口委員長 報告 資料A P82

山口：各青年部の取組を共有したいと思う。講演会の参加を募る。

(16) **【定款委】定款施行規則 火災等の見舞金について** 白木副会長 報告 資料 なし

会長：北海道会員で社屋全焼した会員宛に3万円の見舞金を送った。

(17) **【役員候補者管理委】4/16 委員会の報告** 大代専務 報告 資料A P84

大代：委員長、副委員長を選任した。会長選挙に出席できない場合の投票権について取り決めをした。

(18) 支部総会日程の件 大代専務 報告 資料A P88

## 2015 年度 第 1 回 理事会議事録

---

大代：連絡をいただいていない支部は速やかに報告いただきたい。

(19) 協会リーフレットについて 大代専務 報告 資料配布済

---

大代：資料確認

(20) 石材業界版 政治連盟について 井口直前 報告 資料 なし

---

直前：3 団体にて全国の政治連盟窓口を作るか、作らないか検討中

(21) 年間スケジュールについて 大代専務 報告 資料 A3 別添

---

戸高：近畿地区 総会へ出席乞う

### IV. 監事講評

---

なし

### V. 閉会

2015 年 5 月 14 日

議事録署名人 : 福川 修介 ⑩

議事録署名人 : 斎藤 勝実 ⑩

議 長 : 岸本 達也

議事録作成人 : 事務局 中村早苗